鵜倉山

東里山人作
歌川美丸画

卯のとし春

後編

岩戸板

へ13
3951
2

門 へ13
貴 3951
巻 圭2

東里山作

再の名月 有職縫倉山 後編

歌川義丸画

横山町二丁目
岩戸屋喜三郎板

弥

兵書
茶

弥

弥

弥八
糸

あき田
見五郎
肝涼圓

勇
弥

弥

弥

さても天宝三年五月三日
大ぜいの中へ
引ぐー
勇女よりの
あれそ
▲の
あれる
▲

日本二法
小児薬王
肝涼圓

一粒 八銅
十粒 八十銅

小児十五才迄の内俗病一代根切治ス
暑気の積出ひいきにもとめ
病こそ一日に一度で用ゆれば
する事妙なり

○暑風○かさい○えやみ○五りん○脾虚補ひ○出疳○疳死○疳ひきつ
○せむし○ちくもり○あおぶくれ○ちりめん○ちりつぶ○てんかん○ひきつけ
▲此薬の妙効八重病の虫さへも出さること千五才迄のうちこの薬一日に一度で
一日に七日分一度ずつ用ひおけば俗病ひとつ
がくれやまひ
りんぶく

神秘
出疳散
せんさ丸薬
一服代
七十二銅

世に小せんさの丸薬あまたあれども
月印まるに
よろしく
ちりつぶ
ちりめん
ちりつぶ
ちりめん
ちりつぶ
ちりめん

江戸取次所 横山町二丁目 山石屋吉三郎

右之外京大坂法国 長崎数所取扱所別紙に記す

松